

熊本高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	専門特別セミナー
科目基礎情報					
科目番号	0129		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械知能システム工学科		対象学年	4	
開設期	集中		週時間数		
教科書/教材					
担当教員	毛利 存, 山下 徹				
到達目標					
1. 自分の興味や適性を考えながら、実力にあった到達目標を設定して取り組める。 2. 目標実現に必要な資料や情報を集め、それらを受験準備等に活用していくことができる。 3. 目標実現するための過程を考え、試験までの時間的制約の中で、実施計画が立てられる。 4. 与えられた条件の下で、受験準備等に取り組み、自らの実力養成がはかれる。 5. 目標とした試験等を実際受験して、当初の目標が達成できる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	(各活動の実施計画による)		(各活動の実施計画による)		(各活動の実施計画による)
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 3-2 学習・教育到達度目標 3-3 学習・教育到達度目標 6-3					
教育方法等					
概要	本セミナーは、下記に示すような外部試験あるいは資格取得への挑戦を支援し、これらに成功した場合には、修得単位として認定するプログラムである。本年度の支援予定は以下のとおり： a) 技術士第一次試験（全学年対象）、b) 危険物取扱者試験（全学年対象）、c) TOEIC試験（全学年対象）、d) CSWA・CSWP認定試験（全学年対象） なお、上記以外の資格取得や他大学・他高専での単位修得、あるいは企業等が行うセミナーへの参加についても本単位を発行することがあるので、該当すると思われる場合には担当教員に申し出ること。上記以外での資格試験でのこれまでの単位発行の事例として、機械設計技術者試験、基本情報技術者、初級システムアドミニ、情報セキュリティアドミニ、テクニカルエンジニア試験、第3種電気主任技術者(理論)等がある。				
授業の進め方・方法	本セミナーでは、学校外の様々な外部試験や資格取得への挑戦を支援することで、各自の自主的で継続的な学習スタイル確立の出発点としてほしい。具体的には、各学年で適当と思われる試験等を紹介し、4校時や放課後等を利用してその受験対策を行う。上に掲げたテーマについては、自由に参加できるので、希望者は年度当初のガイダンスに参加して、担当教員に申し出ること。 本セミナー単位は、基本的に受験した試験や講座等の合格をもって発行する。TOEICは400点以上をもって合格とする。評価は、まとめのレポート等を参考に、受験結果を基準に「合格」とする。				
注意点	本セミナーは、生涯にわたる自主的な学習の第一歩として開講する。各自、自分の個性にあわせ、将来を見据えて、積極的に参加してほしい。				
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	各活動の実施計画による	各活動の実施計画による	
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			

		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	資格試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0